

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
※帰国後2週間以内に提出(送信)してください。
※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	国民大学	氏名	
国名	韓国	学籍番号	
留学期間	2024 年 9 月 ~ 2024 年 12 月	記入年月日	2025 年 5 月 8 日

1	履修したすべての科目についてお書きください			
	主な専攻分野: 日本学科(ですがメディア系の授業を主に受講)			
	科目名	グローバル時代の心理学	科目名	メディアで読む韓国語と韓国社会
	授業内容	本教科はグローバル時代に必要な普遍的な人間の心理について学習する。心理学では人間の行動と心的過程について科学的な方法で研究するが、本教科ではこのような人間の行動と心的過程に対する科学的なアプローチ	授業内容	韓国と世界で発生する時事問題関連する韓国語ニュースと関連資料を理解する。授業目標としては、政治、経済、文化、環境などの韓国語のニュースと記事などを通して現代社会のイシューを理解して説明できる。韓国語
	授業形式	対面	授業形式	対面
	単位数	3	単位数	3
	サイズ	中規模授業(50人程度)	サイズ	中規模授業(25人程度)
	難易度 Course No.	普通(程度な難しさ、やや考える程度)	難易度 Course No.	普通(程度な難しさ、やや考える程度)
	宿題の量	なし	宿題の量	なし
	コメント	この講義は外国人が私を含む2名のみだったので、基本的に本国の学生のペースについていかなければならなかった。テストも全員が同じものを受ける点、心理学の専門的な部分も授業内容に含まれる点を考えると、言語理解がある程度できないと授業について行くのは厳しいと感じた。(韓国語能力試験5級程度)	コメント	この講義は外国人専用のクラスで、多国籍の学生が参加していたため、授業の進行は比較的ゆっくりで、予習や復習に追われるようなことはなかった。同じレベルの学生とグループワークや課題に取り組んだので、自分だけが取り残されることもなく、安心して授業に臨むことができた。内容自体はそれほど難しくなかったが、知らない単語が多く登場したため、大変というよりはむしろ勉強になることが多かった。
	科目名	日本の争点研究	科目名	メディアビジネス
	授業内容	この授業は課題先進国として浮上/動揺する現代日本について100の論点に接近する。100周年を超えた日本文芸春秋史がイシューメーカーとして出版してきた論争誌論点100をグループの2024年度を主教材とする	授業内容	メディア現象の経済学的、経営学的アプローチに関する様々な理論と実際を学ぶ。これを通じてメディア産業及びビジネスの運営原理と企業次元の戦略に対する理解を高め、各々は別メディア現象を営むことができる能力
	授業形式	対面	授業形式	対面
	単位数	3	単位数	3
	サイズ	少人数(15人程度)	サイズ	中規模授業(40人程度)
	難易度 Course No.	易しい	難易度 Course No.	難しい(内容が専門的、理解に苦労した)
	宿題の量	なし	宿題の量	なし
	コメント	授業は基本的に日本語で行われ、セミナー形式で自由に発言できる雰囲気があった。本国の学生もある程度日本語を話すことができたし、先生もネイティブレベルの日本語を使う方だったので、意思疎通に困ることはなかった。日本における社会的な問題をテーマに話し合い、意見交換をする場面も多く、楽しく学ぶことができた。	コメント	受講生のうち外国人は自分を含めて10人ほどで、他は本国の学生だった。ただし、短期の留学生は自分だけだった。講義のレベルはやや高く、メディア関連の専門用語が頻繁に出てきて、そのまま授業が進行することもあったため、授業後に復習しないとテスト勉強は難しいと感じた。ただ、先生は外国人学生がいることを十分に配慮しており、発表を無理に求めることはなく、質問にも丁寧に答えてくれたので、わからないことがあればすぐ

科目名	メディアと共同体	科目名	
授業内容	本講義は、メディア学を専攻しない一般学生を対象に、メディア及びコミュニケーション諸現象に対する知識と理解の向上を目指す。今日の大学生は多様なメディアを積極的に活用しているが、メディアに関連する政治・経済・社会・文化などについて理解を深めることが重要である。	授業内容	
授業形式	対面	授業形式	
単位数	3	単位数	
サイズ	中規模授業(50人程度)	サイズ	
難易度 Course No.	易しい	難易度 Course No.	
宿題の量	なし	宿題の量	
コメント	テストやレポートに関して、先生が学生とコミュニケーションをとりながら進めてくれた。課題の内容や提出方法なども、多数決などを通じて学生の意見を取り入れながら決めていたため、安心して取り組むことができた。	コメント	
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.		難易度 Course No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	



2	授業において困ったこと、その解決法について教えてください 授業で困ったことは、特に言語面での不安だった。だが、意思疎通が取れる程度の言語能力と、基本的なコミュニケーション能力があれば大きな問題はなかった。特に外国人のみが受講している講義では、周囲も同じように友達がほしいと思っている人が多いため、困ったときに声をかけやすく、自然と友達ができる環境だった。ただし、本国の学生しかいない講義を履修する場合は、自分から積極的に関わる必要があり、サークルなどを通じて共通の友人を見つける努力が必要だった。自分はあまりコミュニケーション能力に自信がなかったため、授業中に分からなかったことや困ったことがあれば、先生に直接質問をしに行ったり、メールで丁寧に確認するようにして対応した。				
3	授業以外の活動についてお書きください 授業以外では、日本学科のサークルに所属しており、時々みんなで食事に行ったり、テスト終了後には打ち上げを行ったりするなど、交流の機会があった。授業外でも日本語を使う場面が多く、学びとリフレッシュのバランスを取ることができた。				
4	寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください 寮(またはアパート、フラット)名とその場所 国民大学 校内生活館 ソウル特別市 城北区 貞陵洞 77 設備についての簡単な説明 部屋は複数人での相部屋形式が基本で、私が滞在したのは4人部屋だった。各部屋にはベッド、机、クローゼットが一人ひとりに用意されており、空調も完備されている。共用スペースとしては、各階にシャワー室、トイレ、洗面所があり、洗濯機と乾燥機は共用スペースに設置されている。簡単な調理ができる共有キッチンもあるが、調理器具の使用には制限があるため、自炊は最低限に限られる。生活館には門限や出入りの管理があり、安全面にも配慮されている。日常生活に必要な基本的な設備は整っており、留学生でも安心して生活できる環境になっている。 <table border="1"> <tr> <td>部屋について</td> <td>4 人部屋</td> <td>広さ</td> <td>15 畳くらい</td> </tr> </table> ルームメイトについて ルームメイトは全員日本人で、年齢も近かったため、大きな問題はなかった。生活リズムや価値観に大きなズレもなく、互いに気を遣いながら快適に共同生活を送ることができた。ちょっとした相談や雑談も気軽にできたため、精神的にも安心できる環境だった。寮生活に不安もあったが、同じ言語で話せる環境だったことが大きな支えになった。 寝具や生活用品の入手方法 寝具や生活用品は現地で購入した。生活館の近くには大きなマートがあり、基本的な生活必需品はそこでそろえることができる。また、大学から徒歩で20分ほど坂を下った場所にはダイソーもあり、文房具や日用品などを手軽に購入することができた。バスを使えばさらに早くアクセスできるため、必要なものは特に不便なくそろえることができた。 生活の感想 4人部屋という環境でパーソナルスペースがほとんどなく、日常的にストレスを感じる場面が多かった。特にテスト期間中は、それぞれ勉強する時間帯や生活リズムが異なるため、互いに気を遣う必要があり、精神的にかなり疲れることもあった。また、私が滞在していたのは夏だったため蚊が非常に多く、腕や脚が何ヶ所も腫れるほど刺され、アレルギーのような症状が出て身体的にもつらい時期があった。さらに、家族や日本の友人との距離から、ホームシックにも悩まされた。日々の小さな不便が積み重なり、精神的にも身体的にも負担を感じることも少なくなかった。	部屋について	4 人部屋	広さ	15 畳くらい
部屋について	4 人部屋	広さ	15 畳くらい		
5	食事についてコメントを書いてください 食事は基本的に日本からの仕送りの食品と、コンビニで簡単に済ませることが多かった。生活館の近くにはコンビニがあり、温めるだけで食べられる食品や軽食が手軽に手に入るため便利だった。学食も利用できる環境ではあったが、個人的にはあまり惹かれるメニューがなかったため、利用する機会は少なかった。				

6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険	
	日本学生支援機構(JASSO)	
	留学先大学にあった医療保険制度	
	国民健康保険	
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)	
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)	
	(現地通貨)	
	渡航旅費	30万ウォン 3万 円
	帰国旅費	30万ウォン 3万 円
	引越(往復)	円
	保険	80万ウォン 8万 円
	語学研修費	円
	留学先学費	円
	本学学費	100万ウォン 10万 円
	教材費	円
	住居費	80万ウォン 8万 円
	食費	100万ウォン 10万 円
	その他(日用品)	30万ウォン 3万 円
	()	円
	()	円
	合計	450万ウォン 45万 円
	換算率 (100ウォン = 10 円)	
	受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください	
	日本学生支援機構(JASSO)	
8	留学前の準備について教えてください	
	日本から持参すべきもの	
	日本から持参するべきものとしては、常備薬や使い慣れた化粧品・洗面用品、文房具など、現地でも手に入るけれど日本製が安心だったり、自分に合ったものが見つけにくいものを持っていくのが良い。特に薬に関しては、韓国の薬局では成分が違ったり、症状をうまく説明できないと買いづらいこともあるため、よく使うものは日本から持っていくべきだと感じた。	
	留学前にしておけばよかったこと	
	現地での口座開設やSIM契約に戸惑ったので、もっと具体的な手順を事前に調べておけばよかった。	

9	適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください 学習面では特に大きな問題はなかったが、授業の中で挙手制が多かった点は少し難しく感じた。積極的に手を挙げて発言しないと、点数が稼げない授業もあったが、外国人には無理に参加しなくてもよいと言われていたので、なんとかやり過ごせた。生活面では、やはり4人部屋が厳しかった。パーソナルスペースがほとんどなく、集中力も続かないし、家族や友人と連絡を取る時には外に出なければならないことがストレスだった。
10	留学の成果(学習面・精神面)を教えてください 学習面では、韓国語のライティング能力がかなり向上した。予習や復習、テスト勉強をする際にパソコンよりもノートに書くことが多かったため、その方法が効果的だったと感じている。精神面では、休学している学生が多く、自分の将来について考える時間が増えた。日本に帰ってきてからも、すぐに就職活動を始めるという気持ちにはなれず、今は自分が本当にやりたいことについてじっくり考える時間が続いている。
11	今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください 自分が本当にやりたいことを明確にしてから行動に移したいと思っているが、時間がかかりそうなので、まずは前向きに就職活動を進めていこうと思う。
12	留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします 新しいことや環境に対して積極的な人には、留学はとても良い経験になると思う。自分にとっても多くの学びや発見があったので、挑戦してみる価値は十分にある。
13	その他、ご自由に意見を書き込んでください

※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

(☐ 許可する(写真含む) ☒ 写真掲載のみ不可 ☐ 許可しない)

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。
ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。